

令和2年度 居宅介護事業等事業報告

居宅介護事業所 さんぽーと

1. 事業概要

障害者総合支援法に基づき、障がい者の地域での生活の充実を目指して、様々な居宅支援のサービスの提供を行った。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大並びに緊急事態宣言の発出により、各事業の休止や時間短縮を余儀なくされ、利用者のニーズに応えることが困難な状況が続いた。

表1 事業別・月別サービス提供時間

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(時間)
移動支援	R2年度	34.5	48	59.5	82.5	117	109.5	119.5	122	112	71	48	98.5	1022
	R元年度	204.5	216	192	194	193	199	162	164	186	184	194.5	98.5	2187.5
行動援護	R2年度	7.5	16.5	8	47	81	91.5	81.5	112.5	83	56.5	48	82	715
	R元年度	127.5	131.5	127.5	126	151.5	127	139.5	155.5	162	184	137	115.5	1684.5
居宅(家事)	R2年度	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15	15	15	179
	R元年度	20	19	19	20	18	15	15	16	15	16	16	16	205
居宅(身体)	R2年度	15.5	15.5	15.5	17.5	11.5	15.5	16	10	11.5	10.5	11.5	9.5	160
	R元年度	15	15	15	17	18	17.5	18	13	16	13.5	14	18	190
居宅(通院)	R2年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. サービスの種類

移動支援

行動援護

居宅介護（家事援助・身体介護・通院介助）

3. 各サービスの実績

(1) 移動支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により利用が減少した。感染予防対策として、三密（密集、密接、密閉）回避の徹底、利用時間の短縮、行先の選別、利用者及びヘルパー共にマスクの着用、定期的な消毒を行う等の感染対策を行った。

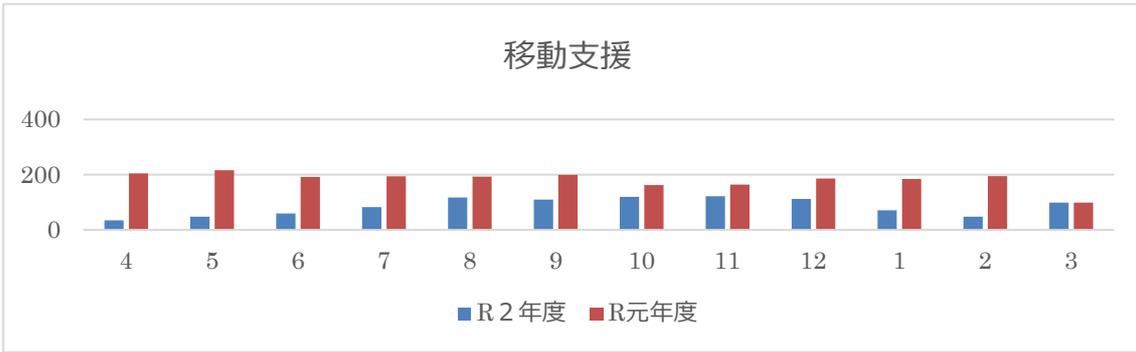


図1 移動支援サービス提供時間

(2) 行動援護

令和元年度同様、移動支援の利用から行動援護に移行する利用者が増えたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用が減少した。感染予防対策としては移動支援と同様の措置をおこなった。

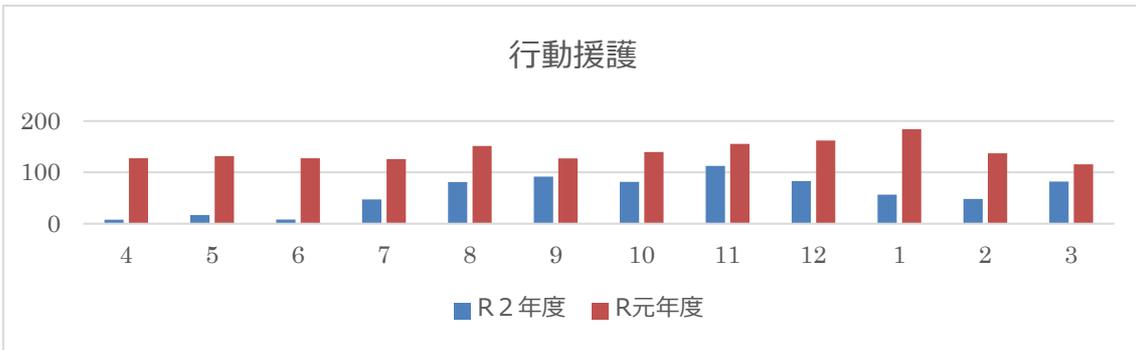


図2 行動援護サービス提供時間

(3) 居宅介護（家事援助）

利用者の生活に関わる支援の為、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策(マスク、消毒等)を行ないながら、回数の制限、時間の短縮等はずに支援を行った。利用者実数の変動はないが、利用者の利用回数に関するニーズが減った結果、サービス提供時間は若干減少している。

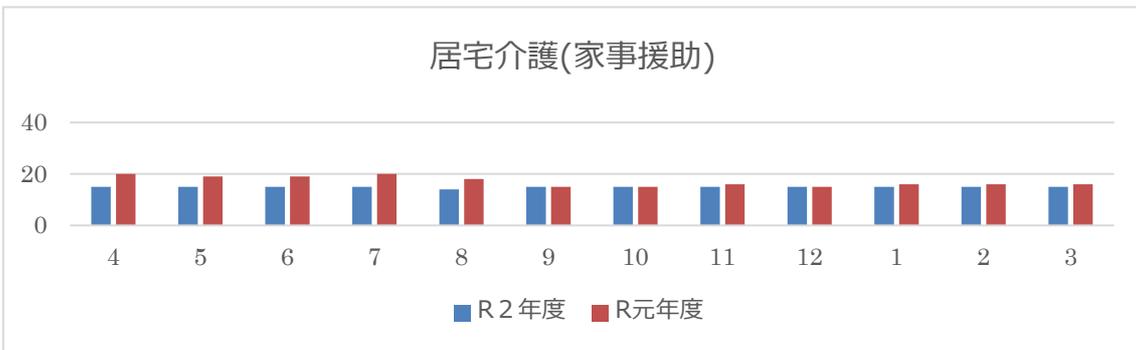


図3 居宅介護（家事援助）サービス提供時間

(4) 居宅介護（身体介護）

居宅介護（家事援助）と同様の感染予防対策を行いながら事業を実施した。利用者のニーズの変動による若干の減少がみられた。

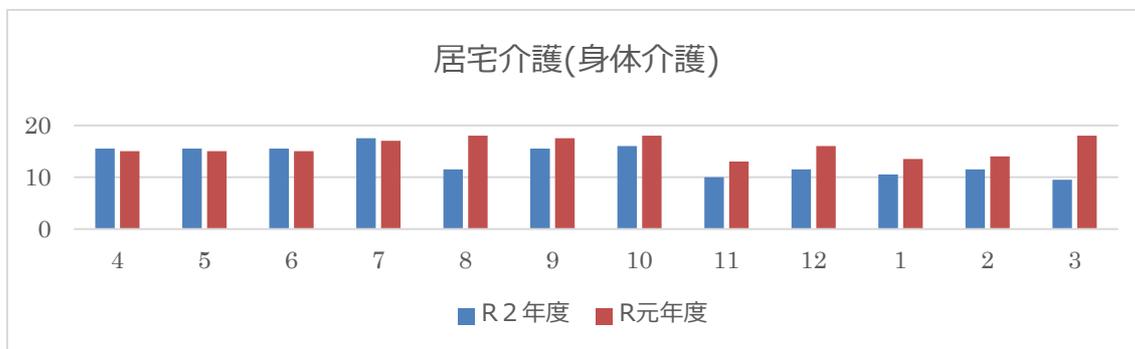


図4 居宅介護（身体介護）サービス提供時間

(5) 居宅介護（通院介助）

通院を支援している実態はあるが、柏原市との調整の中で行動援護サービスの適応となっているため、通院介助の実績はなかった。（図略）

4. 特別強化事業等

(1) 『法人内事業所との連携』

法人内の連携を図り、サービス内容の向上を目的として、高井田苑の職員会議へ参加しての情報共有並びに移動支援、行動援護の基本的な情報を明記したマニュアルを作成し、高井田苑の負担職員に配布した。

移動支援や行動援護は、余暇活動や社会参加の重要なサービスであり、今後ともサービス内容の周知や利用者に応じた活用について周知したい。

(2) 『研修の実施』

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、資料を郵送し、レポートの提出を求める手法で研修を行った。人権研修として、「(対人) 関係とは」「アンガーコントロール」を実施し、人間関係を築くための手法の説明。また、怒りを上手にコントロールして適切に対処する手法を学んだ。今後とも、サービスの質の向上を目指して人権研修を実施する。

(3) 『満足度調査』

質問項目について、令和元年度の課題点(利用者自らの意思で回答してもらう)の改善を行った。また、今年度より新型コロナウイルス感染症についての項目の追加、アンケートの対象者を利用者及び家族の他に、新たに登録ヘルパーを追加して実施した。

その結果、家族からは例年通り好評価をいただき、利用者からはより具体的な支

援の感想、行ってみたい行先の希望等をアンケートで引き出すことが出来た。登録ヘルパーからは、業務に関する感想や事業所に対する要望等が聞き取れた。

来年度も継続して満足度調査を実施する。

5. 終わりに

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度と比較して約50%の減収であった。

今後の事業展開として、新型コロナウイルス感染症の状況下を想定した支援内容の検討、新たな事業開拓等の調査研究をおこなう必要がある。

資料 令和2年度研修実績

実施日	研修内容	対象者
8/1～9/7	人権研修（パワハラ防止法）※	正規等5名
11/2～11/9	発達障害の理解と支援※	正規等5名
11/30	個別STを学ぶ研修会	サービス提供責任者1名
1/27	人権研修（「関係」の中から何を学ぶか）※	非常勤職員 11名

※さんぽーと、さんねっと合同研修